

分野	項目名		P2
子ども・若者	義務教育における給食費の完全無償化及び地域特性を踏まえた部活動改革への支援 最重点		
旧		新	
<p>（項目名） 義務教育における<u>保護者負担の軽減</u>及び地域特性を踏まえた部活動改革への支援</p> <p>（要望内容）※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校給食費について、国の基準額では本市の実態に不足していることから、給食費無償化を安定的かつ公平に継続するため、<u>地域の実態に即した単価設定を行い全額国費で措置</u>すること。また、中学校給食費についても、早期に無償化を実現すること。 		<p>（項目名） 義務教育における<u>給食費の完全無償化</u>及び地域特性を踏まえた部活動改革への支援</p> <p>（要望内容）※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小学校給食費について、国の基準額では<u>札幌市</u>の実態に不足していることから、給食費無償化を安定的かつ公平に継続するため、<u>地域の実態に即した基準額の引き上げを行う等により、全額国費による完全無償化を実施</u>すること。また、中学校給食費についても、早期に無償化を実現すること。 	

令和9年度 札幌市重点要望（5/15調査特別委員会資料からの主な修正点）

分野	項目名		P6
生活・暮らし、環境	バス路線維持に関する支援の強化 最重要		
旧		新	
<p>(要望内容) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業者や自治体による運転手確保に向けた取組について、<u>補助金の拡充や特別交付税措置の新設等</u>、財政支援を拡充すること。 		<p>(要望内容) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業者や自治体による運転手確保に向けた取組について、<u>補助対象経費の拡大や運転手確保支援措置に対する特別交付税措置の新設等</u>、<u>持続可能な体制構築に向けた財政支援を拡充</u>すること。 	

令和9年度 札幌市重点要望（5/15調査特別委員会資料からの主な修正点）

分野	項目名	P13
経済、スポーツ・文化	GX/AIへの投資促進に対する支援 最重点	
旧		新
<p>(要望内容) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● GX/AI分野を核としたスタートアップの集積やAI人材の育成・確保などを目指し、整備に向けた検討を加速化させているGX・AIスタートアップ拠点の実現に向け、整備及び持続的な運営に係る財政支援や機能整備に向けた支援を講じること。 <p>(背景(現状・課題等)) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この環境を最大限に活用した企業誘致や投資呼び込みの実行段階に入り、金融機能の集積・強化の実現に向けて、国内外からの更なる投資獲得が不可欠となる。 ● また、東京一極集中のリスク回避と経済安全保障の観点から、再エネ供給地へのAI拠点の戦略的配置が急務となっており、世界的にGX投資が加速する中、GXとAIを融合した技術革新の発信や、人口減少・積雪寒冷といった過酷な条件下でのAI実装(自動運転等)は、世界展開可能な普遍的技術として海外投資の起爆剤と成り得る。 ● <u>このGX/AIの一体的な推進による札幌の成功は、日本の新たな地域未来戦略のモデルとなる。</u> 		<p>(要望内容) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● GX/AI分野を核としたスタートアップの集積やAI人材の育成・確保などを目指し、整備に向けた検討を加速化させているGX・AIスタートアップ拠点について、整備及び持続的な運営に係る財政支援や機能の充実に<u>に向けた支援を講じるとともに、国産AI基盤モデルの開発を推進する重要拠点として活用すること。</u> <p>(背景(現状・課題等)) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● この環境を最大限に活用した企業誘致や投資呼び込みの実行段階に入り、金融機能の集積・強化の実現に向けて、国内外からの更なる投資獲得が不可欠となる。<u>そのためには、国・関係機関のワンストップ窓口設置やGX推進機構による債務保証の一層の制度拡充など、更なる環境整備が今後必要になる。</u> ● また、東京一極集中のリスク回避と経済安全保障の観点から、再エネ供給地へのAI拠点の戦略的配置や<u>AIロボット・フィジカルAIの開発基盤となる国産AI基盤モデルの開発が急務となっている。</u> ● 世界的にGX投資が加速する中、GXとAIを融合した技術革新の発信や、人口減少・積雪寒冷といった過酷な条件下でのAI実装(自動運転等)は、世界展開可能な普遍的技術として海外投資の起爆剤と成り得る。 <p style="text-align: right;">※図表への追記あり</p>

令和9年度 札幌市重点要望（5/15調査特別委員会資料からの主な修正点）

分野	項目名	P14
経済、スポーツ・文化	人手不足分野の人材確保と外国人の受入・共生に向けた支援 最重点	
旧		新
<p>（背景（現状・課題等））※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 少子高齢化による深刻な人手不足に対し、自治体単独での対応には限界があり、<u>全国規模の支援と地域の実情に応じた取組の両輪での対応が必要。</u> 		<p>（背景（現状・課題等））※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 少子高齢化による深刻な人手不足に対し、自治体単独での対応には限界が<u>あることに加え、冬</u>の生活不安や雪への不慣れ等による外国人材の道外流出など、<u>積雪寒冷地特有の課題もあり、全国規模の支援と地域の実情に応じた取組の両輪での対応が必要。</u>

令和9年度 札幌市重点要望（5/15調査特別委員会資料からの主な修正点）

分野	項目名	P15
経済、スポーツ・文化	多極分散型経済圏の形成に向けた政府機関移転と社会基盤の強化	
旧		新
<p>(要望内容) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大規模災害等による国家機能停止を回避する東京一極集中の是正と地方の生産年齢人口の減少による経済力低下の防止が急務であることから、<u>首都の危機管理機能の分散と多極分散型経済圏の形成に向け、空港やエネルギー・通信網等への集中投資、有事に即応できる国と地方の連携体制を構築すること。</u> ● 人口減少社会における地方の経済成長や社会機能の維持・向上を見据えて、さらなる地方創生の推進が必要であることから、政府関係機関の地方移転について、<u>地域の実情・特性に応じ、着実に実施すること。</u> 		<p>(要望内容) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大規模災害等による国家機能停止を回避する東京一極集中の是正と地方の生産年齢人口の減少による経済力低下の防止が急務である。<u>首都圏との同時被災リスクの低さや強固な地盤に加え、国の出先機関が集積し、丘珠空港や新千歳空港、重要港湾への優れた交通アクセス網を有するなど、首都中枢機能をバックアップする基盤を備え、道都として多極分散型経済圏を形成する役割も期待される札幌市に対し、空港やエネルギー・通信網等への集中投資により、有事に即応できる国と地方の連携体制の構築に向けて更なる機能強化を図ること。</u> ● <u>また、人口減少社会における地方の経済成長や社会機能の維持・向上を見据えて、さらなる地方創生の推進が必要であることから、最適な大都市制度のあり方の検討や政府関係機関の地方移転について、地域の実情・特性に応じ、着実に実施すること。</u>

令和9年度 札幌市重点要望（5/15調査特別委員会資料からの主な修正点）

分野	項目名		
都市空間	市街地再開発事業など都市の魅力向上や防災性を高める事業への支援 最重点		P17
旧		新	
<p>(項目名) <u>都市の魅力向上や防災性を高める市街地再開発事業への支援</u></p> <p>(要望内容) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資材価格等が高騰している状況下で、市街地再開発事業を計画的かつ確実に推進するため、十分な財源措置を講じること。 <p>(背景(現状・課題等)) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特に都心部においては、北海道新幹線札幌開業を見据え、広域交通結節点としての機能強化が進められるとともに、民間による複数の大型再開発プロジェクトが進行中であり、高機能オフィスの整備や国際水準のハイグレードホテルの誘致、脱炭素化を加速するエネルギー転換の推進のほか、災害時に活用できる一時滞在施設等が整備される予定である。 		<p>(項目名) <u>市街地再開発事業など都市の魅力向上や防災性を高める事業への支援</u></p> <p>(要望内容) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 資材価格等が高騰している状況下で、市街地再開発事業等を計画的かつ確実に推進するため、十分な財源措置を講じること。 <p>(背景(現状・課題等)) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特に都心部においては、北海道新幹線札幌開業を見据え、広域交通結節点としての機能強化や移動の利便性・回遊性を向上する<u>新たな公共交通システム構築に向けた取組</u>が進められるとともに、民間による複数の大型再開発プロジェクトが進行中であり、高機能オフィスの整備や国際水準のハイグレードホテルの誘致、脱炭素化を加速するエネルギー転換の推進のほか、災害時に活用できる一時滞在施設等が整備される予定である。 <p style="text-align: right;">※図表の追加あり</p>	

令和9年度 札幌市重点要望（5/15調査特別委員会資料からの主な修正点）

分野	項目名	P19
都市空間	丘珠空港の将来像実現に向けた機能強化 最重要	①
旧		新
<p>(要望内容) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 滑走路延長の2030年供用に向けた<u>事業化の調査・検討及び早期事業化</u>を行うこと。 ● 民間航空機の増便と自衛隊の運用の両立に向けた<u>協議・調整及び空港敷地拡張</u>に向けた支援を講じること。 ● ビジネスジェットの利用拡大に向けた<u>環境整備</u>を行うこと。 ● 防災拠点化に向けた<u>施設整備及び空港を核とした周辺まちづくり</u>への支援等を行うこと。 		<p>(要望内容) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 滑走路延長の2030年供用に向けた<u>早期事業化及び早期着工</u>を行うとともに、<u>民間航空機の増便と自衛隊の運用の両立のための空港敷地拡張及びこれに伴う空港緑地の再整備</u>に向けた支援を講じること。 ● <u>丘珠空港ターミナルビル拡張と合わせて、旅客取扱施設利用料の導入や駐車場運営とターミナルビル運営の一体化など札幌丘珠空港ビル(株)の経営機能の強化</u>に向けた支援及びビジネスジェットの利用拡大に向けた<u>専用施設やC I Q機能等の環境整備への支援</u>を行うこと。 ● <u>滑走路延長後を見据えて、路線拡充や防災拠点化を想定したターミナルエリア（エプロン）拡張及び産業誘致や道路整備等の空港周辺まちづくり</u>への支援等を行うこと。
<p>(背景（現状・課題等）) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>都心に近接する丘珠空港は、道内航空ネットワークの拠点であり道外とも結ぶ空港として、北海道全体の観光振興や経済の活性化、医療・防災機能などの面で大きな可能性を有することから、今後更なる丘珠空港の活用を図っていくため、令和4年11月に「丘珠空港の将来像」を策定。</u> ● <u>将来像の実現に向けて、関係機関等で構成される会議体を立ち上げ、空港機能強化に向けた課題の洗い出しや対応の方向性について協議を実施し、機能強化の柱となる滑走路延長について最短と考えられる2030年供用開始を目指している。</u> 		<p>(背景（現状・課題等）) ※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 丘珠空港は観光振興や医療・防災機能などで大きな可能性を有することから、今後更なる活用を図っていくため、令和4年11月に「丘珠空港の将来像」を策定し、滑走路延長については、最短と考えられる2030年供用開始を目指している。

分野	項目名		P19
都市空間	丘珠空港の将来像実現に向けた機能強化	最重要	②
旧		新	
<p>（背景（現状・課題等））※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>丘珠空港は、国（国交省・防衛省）が管理する共用空港であり、本市が策定した「丘珠空港の将来像」の実現に向けては、国の理解と協力が必須である。</u> ● <u>令和7年度国土交通省予算に丘珠空港の滑走路延長に係る調査費が計上され、北海道開発局と東京航空局が主体となり実施しているパブリック・インボルブメントにおいて、周知広報や住民説明会、市有施設でのパネル展の開催など本市も連携して取り組んでいるところ。</u> ● <u>空港機能強化によって、現在夏ダイヤのみの運航となっているリージョナルジェット機が通年運航可能となるほか、ビジネスジェットも含めた運航可能機材が増える等、丘珠空港が持つ役割の強化につながり、それが札幌のみならず北海道全体の発展に寄与する。</u> ● <u>また、近年の航空需要の高まりや空港の機能強化等による将来的な増便を見据え、早急に民間航空機の安全運航と自衛隊機の訓練の両立を図るための空港敷地の拡張が必要である。</u> 		<p>（背景（現状・課題等））※修正箇所抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ● <u>令和7年度国土交通省予算に丘珠空港の滑走路延長に係る調査費が計上され、国が実施したパブリック・インボルブメントでは機能強化の必要性和早期供用開始への期待の大きさが認められた。</u> ● <u>今後、早期事業化・着工とともに、滑走路延長等でリージョナルジェット機が通年運航可能となることを見据えて、民間航空機の増便と自衛隊機の訓練の両立を図るための空港敷地の拡張と緩衝帯となる空港緑地の整備が必要である。</u> ● <u>また、旅客数増加を踏まえた空港ターミナルビルの拡張にあたっては、札幌丘珠空港ビル(株)の経営機能の強化が必要不可欠であり、旅客取扱施設利用料の導入や空港駐車場とターミナルビルの一体経営などに向けた協議、国の支援が必要である。</u> ● <u>また、ビジネスジェットの利用促進に向けて専用施設やC I Qの整備等を進め、インバウンド誘致を含めた役割強化を目指しており、この点でも国の支援が必要である。</u> ● <u>さらに、就航路線を拡充しつつ、防災拠点化を図るためには、格納庫等の設置を見据えたターミナルエリア（エプロン）の拡張が必要であるとともに、空港周辺地域との共生に向けて産業誘致や道路等のインフラ整備への国の支援が必要である。</u> 	